

令和8年度 国分寺市社会教育委員の会議 第3回定例会（要旨）

日 時：令和8年7月16日（木）午前10時～正午

会 場：国分寺市役所 502 会議室（オンライン併用）

1 開会

2 協議事項

（1）国分寺市の社会教育の現状把握について

○公民館運営審議会委員と社会教育委員との情報交換会について

→公民館運営審議会委員から、旧庁舎跡地に予定している複合公共施設について、令和6年3月に教育長へ「国分寺市現庁舎用地利活用基本計画（複合公共施設）に関する意見」を提出していることや、今後、「複合公共施設『こいまちプレイス』における恋ヶ窪公民館の機能保持と充実化に向けて（教育長あて要望書）」の提出を予定している旨の説明があった。

○複合公共施設について

複合公共施設における公民館の役割や、社会教育委員の視点から見た施設のあり方について、意見交換を行った。

【公民館の位置づけ・役割について】

→国分寺市では、市民が身近な場所で学習や活動に参加できるよう、市内5館の公民館が設置されている。複合公共施設においても、その一つとして恋ヶ窪公民館が設置されるということを、発信していくことが大切である。

→公民館という名称については、これまで培ってきた役割を踏まえつつ、「公民館」という名称そのものがこれからの時代に新たな価値を生み出す可能性や、公民館の機能を新たな言葉で発信する可能性について意見があった。また、公民館以外の目的で施設を訪れた方にも、公民館の機能や役割に関心を持ってもらえる工夫が重要である。

【学びや交流を生み出す場として】

→社会教育施設は、個人が学習や活動を行うだけではなく、参加をきっかけに新たな人とのつながりや学びなどが生まれていくことが重要であり、そのような展開が生み出される場としての役割が期待されるのではないかと。

→社会教育委員のリーフレットに掲げる「学びの情報や交流があふれる場づくり」の観点からも、新しい施設の多目的室などが、市民同士の交流や新たな学び、活動につながる場としても活用されることが期待されるが、今後の展開に注視が必要である。

【複合公共施設に求めること】

→複合公共施設に備わる社会教育機能について、市民が分かりやすく認識できる案内や情報

発信をすることが重要である。

→複数の機能を持つ複合公共施設だからこそ、それぞれの施設・機能を利用する市民等が新たな学びや交流につながるなど、単独の施設では生まれにくい相乗効果が期待される。

【社会教育委員としての関わり方について】

→社会教育委員として、現在の公民館が担っている機能や役割を踏まえながら、複合公共施設において公民館をはじめとする社会教育の機能がどのように発揮され、市民の学びや交流、活動の広がりにつながっていくのか、引き続き関心を持っていくことが重要との意見があった。

→社会教育委員の目線で、今後、複合公共施設に期待していくこと等をまとめ、教育長に報告するかを含めて考えていきたい。

3 閉会